

令和6年度

事業報告

令和6年4月 1日から

令和7年3月31日まで

公益財団法人 太田記念美術館

I 公益目的事業

1. 浮世絵に関する展覧会の企画および開催

1) 企画展示

太田記念美術館において以下のとおり6つの展覧会を開催した。開館日数は254日間。

令和6年度の年間入館者数は、当初の目標である73,000名に対し54,772名多い127,772名（目標対比175%）。目標を大きく上回るとともに、開館以来の最多入館者数記録（平成30年度114,678名）を大幅に更新した。

中でも、「浮世絵お化け屋敷」展は47日間の開催で入館者数は39,352名にのぼり、平成19年1・2月開催の大規模海外展「ギメ東洋美術館所蔵 浮世絵名品展」（43日間47,396名）に次ぐ記録となった。

また、「江戸メシ」展は、19日間の短期開催でありながら、14,370名を動員した。展覧会毎の1日平均入館者数では歴代5位の記録で、歴代2位の「浮世絵お化け屋敷」展共々、新たな来館者層の開拓に貢献した。

展覧会名	会期	開館 日数	入館者数(人)				
			有料	無料	総計	1日平均	うち小中生
月岡芳年 月百姿 一般1000円、大高生700円、中学生(15歳)以下無料	前期 4/ 3～ 4/29 後期 5/ 3～ 5/26	45	17,500	509	18,009	400	266
国芳の団扇絵 —猫と歌舞伎とチャキチャキ娘 一般1000円、大高生700円、中学生(15歳)以下無料	前期 6/ 1～ 6/25 後期 6/29～ 7/28	47	15,025	731	15,756	335	378
特別展 浮世絵お化け屋敷 一般1200円、大高生800円、中学生(15歳)以下無料	前期 8/ 3～ 9/ 1 後期 9/ 6～ 9/29	47	37,312	2,040	39,352	837	1,628
広重ブルー 一般1000円、大高生700円、中学生(15歳)以下無料	前期 10/ 5～11/ 4 後期 11/ 9～12/ 8	53	28,931	819	29,750	561	382
江戸メシ 一般1000円、大高生700円、中学生(15歳)以下無料	1/ 5～ 1/26	19	13,907	463	14,370	756	228
特別展 生誕190年記念 豊原国周 一般1200円、大高生800円、中学生(15歳)以下無料	前期 2/ 1～ 2/24 後期 3/ 1～ 3/26	43	9,882	653	10,535	245	179
令和6年度 合計		254	122,557	5,215	127,772	503	3,061

2. 浮世絵その他の美術品の収集、保存

1) 美術品の購入

収蔵品の体系的、通史的なバランス、展示計画を考慮の上、版本1点、版面を75点購入した。

2) 所蔵品の修復

今年度は所蔵品の修復は行わなかった。

3) 収蔵品の保存

- (1) 防虫防菌のため、収蔵庫の燻蒸作業を行った(令和6年12月)。
- (2) 浮世絵版画は光に弱く、展示により退色が進むため、作品の展示期間を厳正に管理した。また、温湿度管理、照度管理も厳格に行い、作品保護に努めた。

3. 浮世絵美術ならびに江戸文化の啓蒙普及活動

1) 講座等の開催

- (1) 下記の講座を開催した。

① 江戸文化講座

浮世絵にとどまらず、江戸時代全般へ視点を広げ、さまざまな分野の専門家から江戸の文化を学ぶという趣旨の下、全3回の連続講座を開催した。

受講料は一般6,000円、パスポート会員5,000円(全3回分)。受講料に展覧会入場料含む。

◇講座テーマ：錦絵黄金期の出版界は何を目指したのか 申込者数：41名

講師：国際浮世絵学会常任理事 田辺 昌子

	開催日	演題	受講者数
第1講	10月19日(土)	「版元たちの攻防戦 蔦屋重三郎は勝ち組であったのか」	36名
第2講	10月26日(土)	「その浮世絵“美人”は誰なのか」	34名
第3講	11月 2日(土)	「色と紙から錦絵の商品価値を知る」	38名

(敬称略、肩書きは講座開催当時)

② 夏休み子ども講座

小中学生とその保護者を対象に、下記の講座を開催した。参加費は無料(事前申込・抽選制)。

開催日	演題・内容	参加者数
7月27日(土)	夏休み子ども講座「浮世絵をつくってみよう」 ワークショップ参加者が、摺り師指導の下、実際に浮世絵版木の摺りを体験し、その制作工程を学んだ。 協力：公益財団法人アダチ伝統木版画技術保存財団	19組 38名

(2) 学芸員によるスライドトーク

入館者を対象に、展示作品をより深く理解し、浮世絵を身近に感じてもらうことを目的として、担当学芸員によるスライドトークを、下記のとおり開催した。参加費は無料(先着順に整理券を配布)。

展覧会名	開催回数	受講者数
月岡芳年 月百姿	7回	362名
国芳の団扇絵 ―猫と歌舞伎とチャキチャキ娘	7回	369名
広重ブルー	11回	722名
江戸メシ	6回	433名
合計	31回	1886名

(3) 日曜映写会の開催

- ・企画展会期中の日曜日に浮世絵の歴史、伝統文化を紹介する映像資料の無料映写会を開催した。

上映内容 『浮世絵 江戸文化の精華(英語字幕付き)』(制作:太田記念美術館)
年間上映回数 53回
観覧者総数 3,402名

- ・「江戸メシ」展において、会場内の混雑状況に応じて、混雑緩和対策のため、『浮世絵 江戸文化の精華（英語字幕付き）』をリピート上映した。

2) 青少年への教育普及活動

- ・青少年への教育普及活動の一環として、美術鑑賞の機会を幅広く提供するため、中学生(15歳)以下の美術館入場料を引き続き無料とした。
- ・教育機関の美術鑑賞教育に協力する等、浮世絵美術の教育普及に努めた。

3) 年間パスポート制度

来館者へのサービス向上および浮世絵美術の普及を目指し、「太田記念美術館年間パスポート」制度を引き続き実施した。年会費7,000円。令和6年度会員数は535名であった。

会員証提示により、有効期間内の展覧会期中、何度でも入館することができるほか、絵はがき等のオリジナルミュージアムグッズおよび有料講座受講料の会員割引、一年間有効の招待券を2枚贈呈等の特典を提供した。

4) 館外協力

(1) 教育機関への協力

青少年に対する浮世絵美術の啓蒙・教育を目的として、教育機関の校外学習を受け入れた。うち、学芸員による主な対応は以下のとおり。

実施日	教育機関名	内容
11月29日(金)	國學院大學	展覧会解説
1月12日(日)	目白大学	展覧会解説
1月19日(日)	実践女子大学	展覧会解説

(2) 他機関等への協力

① 美術品の貸出を以下のとおり行った。

貸出先	展覧会名	会期	貸出作品・点数
すみだ北斎美術館	歌舞音曲鑑 北斎と楽しむ江戸の芸能	R6. 3.19～ 5.26	版画 4点 版本 1点
東京藝術大学大学美術館	大吉原展	R6. 3.26～ 5.19	肉筆画 1点 版画 4点 版本 2点
あべのハルカス美術館	あべのハルカス美術館開館10周年記念 広重一摺の極一	R6. 7. 6～ 9. 1	肉筆画 2点 版画 6点 版本 1点
那珂川町馬頭広重美術館	広重と国芳	R6. 7. 6～ 9. 8	版画 12点

② 浮世絵木版画彫摺技術保存協会からの依頼により、研修の一環として、展覧会見学の受け入れおよび展示解説を行った。(1月24日(金)「江戸メシ」展 参加者数11名)

③ 尺八奏者のグループ「The Shakuhachi 5」のレクチャーコンサート「浮世絵と尺八の深～い関係」に協力し、開催会場として当館の視聴覚室を提供した。(開催日：6月9日(日))

(3) 調査研究依頼への協力

所蔵品の特別観覧の申請に対し、以下のとおり協力した。

観覧日	観覧者	調査内容
12月 3日(火)	東京国立博物館 1名	歌川豊国他 肉筆画1点、版画3点、版本2点
1月17日(金)	サントリー美術館 2名	歌川広重他 版画4点

5) 広報活動

(1) マスメディア

① 記者内覧会

各展覧会において記者内覧会を開催し、展覧会開催の効果的かつ幅広い周知のため、担当学芸員が見どころや作品解説を行った。

② 展覧会ごとにプレスリリースを作成し、マスコミ各社へ送付した。

③ 浮世絵関心者層の増加、美術館の認知度向上および展覧会のPRを目的とし、新聞、テレビ番組、雑誌等の取材協力を積極的に行った。主な協力内容は以下のとおり。掲載・放送日は初回のみ記載。

掲載・放送日	媒体	内容
4月 5日(金) 他	読売新聞社運営 情報サイト「美術展ナビ」	美術展ナビ「AROUND HOKUSAI」取材協力 第19～25回
5月29日(水)	NHK総合テレビ 午後LIVE ニュースーン	アクリルグッズ特集において、当館オリジナルグッズ「猫のアクリルスタンド」3種を紹介
7月14日(日)	NHK Eテレ 日曜美術館アートシーン	「国芳の団扇絵 一猫と歌舞伎とチャキチャキ娘」展を紹介 作品撮影、取材協力、出演
7月17日(水)	読売新聞	New門(ニュースの門) テーマ：うちわ 画像提供および取材協力
7月19日(金)	テレビ朝日 グッド！モーニング	「国芳の団扇絵 一猫と歌舞伎とチャキチャキ娘」展を紹介 作品撮影、取材協力、出演
8月23日(金)	テレビ朝日 グッド！モーニング	「浮世絵お化け屋敷」展を紹介 作品撮影、取材協力、出演
9月 1日(日)	NHK Eテレ 日曜美術館アートシーン	「浮世絵お化け屋敷」展を紹介 画像提供、取材協力
10月10日(木) 他	読売新聞社運営 情報サイト「美術展ナビ」	美術展ナビ「AROUND 蔦重」取材協力 第2、4、6、9～13、16～18、20回
10月22日(火)	NHK Eテレ 先人たちの底力 知恵泉	特集「歌川国芳・河鍋暁斎 師弟で乗り越えた時代の荒波」 撮影協力 歌川国芳「源頼光公館土蜘蛛妖怪図」
10月23日(水)	テレビ朝日 グッド！モーニング	「広重ブルー」展を紹介 作品撮影、取材協力、出演
10月27日(日)	日本経済新聞 The STYLE	「美の粋」欄 江戸の浮世絵戦争画(下) 幕府の目あざむき伝える 歌川貞秀「官軍大勝利」を紹介

掲載・放送日	媒体	内容
12月31日(火)	NHK総合テレビ もうすぐ放送100年！ 大みそかスペシャル	江戸の年越しに関わる浮世絵および「豊原国周」展出品作品の紹介 作品撮影、取材協力、出演
1月14日(火) 1月15日(水)	テレビ朝日 グッド！モーニング	2日間に渡り、「江戸メン」展を紹介 作品撮影、取材協力、出演
2月 9日(日)	NHKBSプレミアム4K 他 たたかう蔦屋重三郎 いざ！三本勝負	蔦屋重三郎の出版に関連する東洲斎写楽、歌川豊国、勝川春英の作品を紹介 作品撮影、取材協力、出演
3月 8日(土)	テレビ東京 新美の巨人たち	「蔦重と歌麿」×高島礼子 べらぼうな浮世絵ものがたり 喜多川歌麿の作品を紹介 作品撮影、取材協力、出演
3月 9日(日)	NHK Eテレ 日曜美術館アートシーン	「豊原国周」展を紹介 作品撮影、取材協力、出演

- ④ 写真資料の提供を希望するテレビ番組、美術関連書籍、雑誌等に対してその利用目的等を確認の上、貸出を行い、江戸文化、浮世絵美術の普及に努めた。

(2) 印刷物の製作・配布

- ・令和6年度年間スケジュールを館内にて配布した。
- ・各展覧会のポスター・チラシを製作し、館内にて掲示・配布するとともに、美術館、博物館、教育機関、公共機関等への配布を行い、展覧会、催事の周知に努めた。
- ・第41回浮世絵研究助成の募集要項チラシ(日本語・英語両面)を作成し、館内にて掲示・配布するとともに、美術館、博物館、教育機関、公共機関等へチラシ配布を行い周知に努めた。

(3) ウェブサイト、ソーシャルメディアの運用

① ウェブサイト

- ・館案内、展覧会等の情報を展開し、年間を通して随時情報の更新を行った。
- ・安全性向上のため、ウェブサイトの一部改修を行った。

② X(旧Twitter)

- ・ロコミによる情報の拡散を狙い、X(旧Twitter)を活用して展覧会情報、催事等、美術館ウェブサイトと相互に連携した情報発信を積極的に行うことにより、集客力の向上および幅広い年齢層への認知度向上に努めた。
- ・フォロワー数は令和7年3月31日現在210,911名。昨年度よりも11,346名増加した。

③ note

浮世絵美術普及のため、メディアプラットフォーム「note」による情報発信を行った。

- ・無料配信

幅広い層の人々が浮世絵に親しみを感じ、興味関心を抱くよう、様々な切り口から、浮世絵の情報、浮世絵師の逸話などのコラム、展覧会紹介記事等を執筆し、無料で配信しており、令和2年8月に配信をスタートして以来、公開中の記事は累計165本となった。

令和6年度は新たに「パブリックドメインから歌川国芳の団扇絵を集めてみた」を公開した。

・有料配信

「オンライン展覧会」と銘打ち、出品作品の画像と解説を有料記事として4本配信した。

年間の「オンライン展覧会」購入件数は776件で、そのうち令和6年度配信開始分の購入件数は636件だった。詳細は以下のとおり。

配信開始日	記事名	購入件数	内容
4月 7日(日)	【オンライン展覧会】 「月岡芳年 月百姿」展	50	実際の展覧会と連動 販売価格：1,800円
9月29日(日)	【オンライン展覧会】 「浮世絵お化け屋敷」展	31	実際の展覧会と連動 販売価格：2,200円
10月10日(木)	【オンライン展覧会】 「広重ブルー」展	73	実際の展覧会と連動 販売価格：1,800円
1月 6日(月)	【オンライン展覧会】 「江戸メシ」展	482	実際の展覧会と連動 販売価格：1,000円

6) 他館との連携

- (1) 山種美術館と連携し、入館料の相互割引サービスおよびポスター・チラシの相互掲出を、引き続き行った。
- (2) 戸栗美術館と連携し、入館料の相互割引サービスおよびポスター・チラシの相互掲出を、令和6年4月から開始した。
- (3) 千葉市美術館と連携し、太田記念美術館年間パスポート会員と千葉市美術館友の会会員の相互割引サービスを、引き続き行った。
- (4) サントリー美術館と連携し、太田記念美術館年間パスポート会員とサントリー美術館メンバーズクラブ会員の相互割引サービスを、引き続き行った。
- (5) 「広重ブルー」展において、ホテル雅叙園東京 東京都指定有形文化財「百段階段」にて開催の「月百姿×百段階段 ～五感で愉しむ月めぐり」展(10月5日～12月1日)と入館料の相互割引、チラシの設置等、広報協力を行った。
- (6) 「生誕190年記念 豊原国周」展において、静嘉堂文庫美術館にて開催の「豊原国周生誕190年 歌舞伎を描く―秘蔵の浮世絵初公開!」展(1月25日～3月23日)と入館料の相互割引、チラシの設置等、広報協力を行った。

7) 地域との連携

- (1) 東京地下鉄株式会社、東京都交通局の行う観光客向けサービス「ちかとく」に引き続き参加し、対象乗車券の提示により入場料割引を行った。
- (2) 複合文化施設「Bunkamura」との連携
 - ① 「Bunkamura」が展開するPRプロジェクト「渋谷アート」に、連携施設として令和6年8月から参加した。「渋谷アート」とは「渋谷」をテーマに、渋谷を中心とする美術館・文化施設の魅力を発信し、地域の魅力向上やエリア集客等に貢献する活動。
 - ② オンラインチケットサービス「MY Bunkamura」にて、展覧会チケットの委託販売を令和6年8月から開始した。

8) ミュージアムグッズ等の制作・販売

- (1) 来館の記念となり、来館者が商品購入を通じて美術に親しみ、関心を深めるためのミュージアムグッズ等を制作、販売した。また、展覧会に関連したグッズ、復刻浮世絵版画、浮世絵関連書籍等を販売した。
当館のミュージアムショップは美術館入館受付と兼ねているため、限られたスペースの中で来館者のニーズに沿うべく、販売商品を考慮のうえ選定し、充実を図った。また、普段は当館に足を運ぶことの少ない青年層やファミリー層等が来館のきっかけとなるような、魅力ある新規グッズの開発に注力した。

令和6年度に制作したオリジナルミュージアムグッズは以下のとおり(再販含む)。

- ・絵はがき 45種(通年販売14種、令和6年度展覧会用23種、令和7年度「小原古邨」展用8種)
- ・うちわ 2種(「国芳の団扇絵―猫と歌舞伎とチャキチャキ娘」展にあわせて制作)
- ・クリアファイル 5種(通年販売2種、令和6年度展覧会用3種)
- ・アクリルスタンド 3種(通年販売、うち1種は新規制作)
- ・シール 1種(通年販売)
- ・トートバッグ 3種(通年販売用として新規制作)
- ・マスキングテープ 3種(通年販売)
- ・ポチ袋 8種(通年販売3種、令和6年度展覧会用2種、令和7年度「小原古邨」展用3種)

- (2) 太田記念美術館オリジナルLINEスタンプ(虎子石イラスト1種)を引き続き販売した。

9) その他

- (1) 各展覧会毎に作品リスト(日本語版・英語版)を作成し、館内で配布するとともに、ウェブサイトにてダウンロードできるようにした。
- (2) 各展覧会毎に作品タイトル、主だった展示解説について和英表記を行った。また、英語対応の可能な職員が常駐し、外国人観光客の受け入れ態勢の充実に努めた。
- (3) 「国芳の団扇絵―猫と歌舞伎とチャキチャキ娘」展、「浮世絵お化け屋敷」展、「生誕190年記念 豊原国周」展において、会期中2回目以降の来館者に対し、リピーター向け入館料割引を実施した。
- (4) 「国芳の団扇絵―猫と歌舞伎とチャキチャキ娘」展の有料広告を掲出した(7月2日 東京新聞朝刊)。

4. 浮世絵研究者の育成および助成

- 1) 内外の新進浮世絵研究者育成のため、第41回浮世絵研究助成を公募し、令和7年1月28日、応募10編全てを選考委員会で審査した結果、以下の研究テーマ2編を入選とした。

入選者	入選研究テーマ	助成金
趙 洙江	新版画・外国人画家エリザベス・キースの研究 ジョーダン・シュニッツァー美術館およびバシフィック・アジア美術館の所蔵品を中心に	600,000円
常包美穂	歌川広重の街道浮世絵に関する基礎的研究	400,000円

選考委員は、河野元昭氏(東京大学名誉教授)、大久保純一氏(国立歴史民俗博物館教授)、大石学氏(東京学芸大学名誉教授)、鈴木章生氏(目白大学教授)、日野原健司(太田記念美術館 主席学芸員)の5名。及川茂氏が退任し、後任として、当年度から当館学芸員の日野原健司が加わった。選考委員の肩書は選考会当時のもの。

- 2) 令和7年3月刊行の『太田記念美術館紀要 浮世絵研究 第15号』に、令和4年度第39回浮世絵研究助成入選者である戸塚史織氏による研究成果に基づいた論文の提出を受け、掲載した。
- 3) 浮世絵研究者の育成を目的として、研究成果発表の機会を提供することにより、研究活動の支援ならびに研究者相互の交流を図るため、例年開催していた若手研究者の講演会は、展示スケジュール等との兼ね合いから開催を見送った。

5. 浮世絵等の資料収集・整備、調査研究および出版

1) 作品の調査研究

- (1) 展覧会開催やSNS等での情報発信のため、収蔵品の調査研究を行った。また、特別展開催に向けて他の美術館、博物館、ならびに個人所蔵の関連作品の情報収集を行うとともに調査研究ならびに出品交渉を行った。
- (2) 展覧会毎に、来館者の鑑賞体験の充実を支援するための解説パネルの原稿を執筆した。

2) 資料・図書の充実

- (1) 収蔵品の調査研究および図録、ブックレット等制作のため、写真撮影を行った。
- (2) 作品管理の簡便化を図るため、主要収蔵品についてデジタルデータ化を進めた。
- (3) 展覧会開催および調査研究に必要な図書資料等を購入した。
- (4) 新収蔵品について作品情報データベース、美術品目録、作品カードの整備を行った。
- (5) 立命館大学アトリサーチセンター（ARC）に協力し、太田記念美術館の収蔵品データベース作成のための撮影を、令和5年度から開始している。令和6年度は肉筆画を中心に撮影の予定であったが、ARCの都合により、延期となった。
令和5年度において版画全点（令和6年2月現在）、版本の一部の撮影が終了しており、ARCより完成したデータベースの提供を受け、令和6年度から研究活動等に活用している。
撮影およびデータベース作成費用、管理、運用全般はARCが負うという条件での全面協力であり、公開範囲は当面の間、当館職員およびARC研究員に限定としている。

3) 展覧会図録等の刊行

- (1) 展覧会の開催にあわせ、以下の図録を刊行し、当館学芸員の研究論文を掲載した。
 - ・『国芳の団扇絵 一猫と歌舞伎とチャキチャキ娘』
赤木 美智 「歌川国芳の団扇絵について」
 - ・『生誕190年記念 豊原国周』
渡邊 晃 「豊原国周の画業」
- (2) 展覧会の開催にあわせ、以下のブックレットを刊行した。
 - ・『浮世絵お化け屋敷』
 - ・『広重ブルー』

(3)『太田記念美術館紀要 浮世絵研究 第15号』を刊行した。

(4) 以下の書籍の監修、執筆を行った。

・『代表作でわかる浮世絵BOX』

監修：太田記念美術館

執筆：日野原健司、渡邊晃、赤木美智

発行：株式会社 講談社(令和6年11月)

(5) 以下の展覧会の開催にあわせ、「オンライン展覧会」と銘打った記事を執筆し、メディアプラットフォーム「note」を利用して有料で配信した。詳細は「3. 浮世絵美術ならびに江戸文化の啓蒙普及活動」に記載。

・「月岡芳年 月百姿」展

・「浮世絵お化け屋敷」展

・「広重ブルー」展

・「江戸メン」展

6. 美術館の運営

1) 空調設備更新工事

令和6年1月から3月末まで休館し、更新工事を実施したが、途中で地下視聴覚室系統の空調設備工事に、追加の改修を要することが判明し、部品調達の都合上、工期は4月上旬まで延びた。

1・2階の空調は稼働可能であることから、工期の4月ずれ込みによる展覧会への影響はなかった。

2) 施設の整備

(1) 来館者が安全、快適に過ごせるよう、適切な保安全管理に努めた。

(2) 展示室内の空間センサー交換工事を行った。

(3) 美術館入口前の掲示板の内部板更新工事を行った。

(4) 館内のドアノブおよび防火扉のシリンダー交換工事を行った。防火扉については建付け調整も併せて行った。

(5) 10月の展覧会期中、正面玄関シャッターが安全装置の故障により開閉不能となったため、応急補修工事を行い、後日、安全装置の交換工事およびメンテナンスを行った。

(6) 空調機用ブレーカーの更新工事を行った。

(7) 消防設備点検により1階の防火ダンパー不作動の指摘を受け、防火ダンパーおよび付随するダクト改修工事を行うためのアスベスト事前調査を行った。

(8) 展示室内のフリッカーが発生する照明器具について、電源装置の交換を行った。

3) 改正博物館法への対応

(1) 5月18日に東京都へ博物館等運営状況定期報告書(令和5年度)を提出した。

(2) 9月18日に東京都へ博物館再登録申請を行い、書類審査、実地調査を経て、12月23日付、登録完了した。

(3) 立命館大学アトリサーチセンター(ARC)に協力し、令和5年度から撮影を開始した収蔵品データベース化の作業は、ARCより完成したデータベース(全収蔵品の約80%)の提供を受け、令和6年度から研究活動等に活用している。詳細は「5. 浮世絵等の資料収集・整備、調査研究および出版」に記載。

4) 職員への研修等

(1) 学会、会議等への出席

- ・ 6月15日(土) 国際浮世絵学会 第26回春季大会に出席した。
- ・ 11月 9日(土) 国際浮世絵学会 第29回秋季大会に出席した。
- ・ 2月12日(水) 東京都が開催する美術館・博物館ネットワーク会議(オンライン開催)に出席した。

(2) 防災教育の実施

- ・ 7月30日(火) 自衛消防訓練を実施した。
- ・ 12月25日(水) 自衛消防訓練を実施した。

5) その他

(1) 評議員の安達以乍牟氏が令和6年11月11日に逝去された。

(2) 台風7号の影響により、来館者および関係者の安全確保のため、8月16日の閉館時間を4時間繰り上げた。

II 収益事業(美術館建物の一部を店舗として賃貸する事業)

美術館建物の地下の一部を、てぬぐい専門店である株式会社かまわぬに賃貸した。

III 理事会・評議員会等の開催

令和6年6月7日	令和6年度第1回理事会	
開催場所	太田記念美術館 視聴覚室	
決議事項	令和5年度事業報告および収支決算の承認の件	原案通り可決
	事務処理規則の承認の件	原案通り可決
	評議員会開催の件	原案通り可決
報告事項	代表理事の職務執行状況の報告	
	浮世絵研究助成選考委員の就退任、東京都の博物館等運営状況定期報告 他	
出席等	定足数5名、出席7名(内オンライン出席2名)、欠席1名、監事出席2名	
令和6年6月20日	令和6年度第1回評議員会(決議の省略)	
決議事項	令和5年度事業報告および収支決算の承認の件	書面決議
令和7年3月11日	令和6年度第2回理事会	
開催場所	南国酒家 原宿店	
決議事項	令和7年度事業計画および収支予算承認の件	原案通り可決
	基金への資金繰入承認の件	原案通り可決
	「太田記念美術館 館則」の承認の件	原案通り可決
報告事項	代表理事の職務執行状況の報告	
	博物館法改正に伴う博物館再登録の完了、役員の就退任、浮世絵研究助成 他	
出席等	定足数5名、出席6名、欠席2名、監事出席1名	

IV 官公庁への届出等

令和6年5月18日	東京都へ博物館等運営状況定期報告書を提出(令和5年度)
令和6年6月27日	内閣府へ事業報告等の提出(令和5年度)を電子申請
令和6年8月23日	内閣府へ変更の届出(監事の退任)を電子申請
令和6年9月18日	東京都へ博物館登録申請(再登録)
令和7年1月15日	内閣府へ変更の届出(評議員の退任)を電子申請
令和7年3月18日	内閣府へ事業計画書等の提出(令和7年度)を電子申請

令和6年度事業報告の附属明細書について

令和6年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和7年6月

公益財団法人 太田記念美術館